



# 千葉大学医学部ヨット部報

Vol.37 令和3年度 1月吉日

## はじめに

寒気厳しき折でございますが、日頃より医療の最前線でご尽力しておられるOBの先生方に心からの敬意を表します。

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、部活動の停止や活動制限、さらには東医体・医科歯科大会の開催も2年連続中止となってしまいました。このような状況下で思うように活動できない時期もございましたが、現在は再び以前のようなヨット部の姿を取り戻しつつ、5人の新入部員も迎え、来年度の東医体に向けて日々努力しております。

OB総会をはじめ、イベントになかなか先生方をお招きすることは出来ませんでした。オンラインにて遠方からも沢山の先生方にご参加頂き、心より感謝申し上げます。日頃よりご支援を頂いておりますOBの先生方へ感謝の気持ちを込めまして、今年度の活動報告をさせて頂きたく存じます。

## 部活動活動報告

2021年1月上旬、部活動はオフに入り、春練習の開始に向けて自主練をしようとしていた時期に、新型コロナウイルス感染症の影響により、再び部活動の活動停止が要請されました。活動停止は4月上旬におよび、春練習を行うこともできず、長い間ヨットに乗ることができない日々が続くこととなりました。

今年度も前年度に引き続き、東医体の開催中止が4月末に決まりました。今年度こそ、前年度中止に終わってしまった東医体3連覇の目標を果たそうと秋練に励んできた為に、悔しい思いを感じました。前年度の医科歯科大会に引き続き、今年度の東医体も中止となってしまったレースメンバーは、一度も大会に出ることなく8月を迎えることとなりました。

幸いにも練習は4月10日より再開致しましたが、活動時間に制限もあり、なかなか思うような活動ができませんでした。限られた時間でどのように知識や技術を身につけるか、日々模索し、オンラインでのミーティングをより効果的にする方法を考えるなど、今も工夫を続けております。

今年度の新歓は対面での活動に制限があり、試乗会を行うことも困難な状況で7月までに及びましたが、新たに5人の新入生を迎えることとなりました。これからもこれだけの大人数で活動を行えていることに感謝し、互いに助け合って参ります。

今年度の東医体で8月にプレイヤーを引退し、コーチとなる予定だった5年生は、最後に一度大会に出場したい、後輩に技術を伝えたいという思いからプレイヤーを続け、10月16日、17日の関東470選手権の出場を

し、引退を迎えることとなりました。10月末より現在、新体制での活動が始まりました。練習も活動時間の制限もなく行えていることに感謝して、1日1日を大切に、今、次の東医体を目指し練習に励んでおります。



## 関東 470 選手権

10月16日、17日に相模湾にて開催されました関東470級選手権大会に出場いたしました。昨年果たすことのできなかった東医体3連覇という目標に向かって練習に打ち込む中での2年連続の東医体中止の知らせは受け入れがたく、5年生は何を節目にプレイヤーを引退するのか何度も話し合いが行われました。最後に大きな大会に出たい、ヨット部で引き継がれてきた大切な伝統・技術を後輩にできる限り伝え続けたいという思いから、例年とは異なり10月までプレイヤーを続け、関東470選手権をもって引退することを決めました。大会直前に新型コロナウイルスが再拡大し、9月に予定されていた関東470選手権予選レースが延期の末に中止となり、一度は大会の開催が懸念されたこともありましたが、10月に入り感染者数が落ち着いたことで無事10月16、17日に行われました関東470選手権大会に出場することができました。

東医体レースメンバーであった5年生・3年生ペアでは江の島をはじめ外洋での練習経験がなく、約90艇ものヨットが出場するビッグフリートへの出場経験もありませんでした。高揚感と緊張感に包まれる中、後悔のないよう今までの練習の成果を出し尽くす気持ちでレースに臨みました。1日目は順風から強風のコンディションの中、3レースを行うことができました。2日目は残念ながら強風のためノーレースとなりましたが、2日間で多くのことを学び、とても実りのある大会となりました。

大会出場にあたり、OBの先生方には温かいお言葉をいただいたり、ハーバーまで足を運んで直接応援してくださいったり、たくさんのご支援をいただき、改めて私たち千葉大学医学部ヨット部の活動はOBの先生方のご支援があってこそのものだと実感し、感謝の気持ちでいっぱいとなりました。心より感謝申し上げます。

最後にレース結果を以下にご報告させていただきます。

JPN4757

スキッパー：岡本和也

クルー：竹内南帆

1R 30 2R DNF 3R DNF

Result 75位 (79)



JPN4581

スキッパー：浜辺美波

クルー：原田晃希・大山諒

1R 29 2R 12 3R DNF

Result 48位 (41)



JPN4486

スキッパー：片山一志

クルー：中西杏璃

1R 34 2R DNF 3R BFD

Result 82位 (83)



JPN4465

スキッパー：川島泰世

クルー：小山田理恵

1R STP (38) 2R DNF 3R 34

Result 68位 (72)



JPN4413

スキッパー：菅波創太郎

クルー：北村美織

1R 26 2R DNF 3R 32

Result 63位 (58)



JPN4305

スキッパー：森田夏希

クルー：田中颯人

1R 35 2R 31 3R DNF

Result 65位 (66)



# 徳久先生ご退任記念の会を行いました



徳久剛史先生が、2014年度から2021年3月まで務められた千葉大学学長をご退任されることを記念致しまして、徳久先生をお祝いする会を開催致しました。

今回、徳久先生に直接感謝をお伝えし、記念品や花束をお渡しさせて頂きたく、部員のみ対面、OBの先生方にはzoomでご参加頂く対面/オンラインハイブリッド形式での開催をいたしました。お忙しい中、大変多くのOBの先生方にご参加頂き、素晴らしい会にすることができました。改めまして、誠にありがとうございます。

会では徳久先生に貴重なお話を頂き、そのお言葉はこれからの部活動や大学生活のみならず、人生を送るうえでの指針となりました。またOBの先生方から徳久先生に向けてのメッセージをいただきましたが、素晴らしい功績を残されている多くの先生方が徳久先生のお言葉を心に刻んでおられ、このような貴重なお話を聴くことのできる我々部員は非常に恵まれているのだとより一層強く感じました。

## 新入部員の言葉

医学部ヨット部には男子3名、女子2名の総勢5名の1年生が新たに入部致しました。ヨットという新しい競技をどんどん吸収しようという積極的な姿勢から、これからの益々の成長に期待しております。今後ヨット部をより一層繁栄させてくれるであろう、期待の新入部員たちの挨拶です。

五町 総一郎（開成）

少しでも上手くなれるよう、先輩方から多くのことを学んでいきたいと思いを。

佐野 優衣（高松）

良いクルーになれるように一回一回の練習を大切に頑張っていきたいです。

神保 気凜（大阪府立北野）

先輩方に追いつき、追い越せるように一生懸命頑張ります。

鈴木 喬晶（開成）

ヨットが大好きです。先輩方が積み上げられてきた素晴らしい伝統を引き継げるよう、精一杯努力していこうと思います！

松原 未来（光塩）

たくさん勉強して、先輩みみたいなカッコいいクルーになれるように頑張ります！



最前列の5人が新入部員です。

# 5年間を振り返って

千葉大学医学部ヨット部令和2年度キャプテン 菅波創太郎

この場でOB.OGの先生方に向けて、去年は果たせなかった”東医体3連覇”を報告したい、そう思っていたレースメンバー生活でした。新型コロナウイルス感染症の感染状況から2年連続で東日本医科学生体育大会の開催は中止となり、私たちの”東医体優勝”は果たせずに終わりました。

去年練習が再開してから私たちは、「東医体が中止になったことで出られなかった先輩方・後輩達の無念を晴らしたい」、「東医体2連覇を果たした先輩達の襷を繋ぎたい」、「私たちが見ることのできた東医体優勝の景色を後輩達にも見せてあげたい」、「このコロナ窩でご尽力して下っているOBの先生方に強い千葉大学のヨット部の姿を見せたい」、そんな思いを持って練習に取り組んでいました。しかしそんな中での”東医体中止”の決定でした。

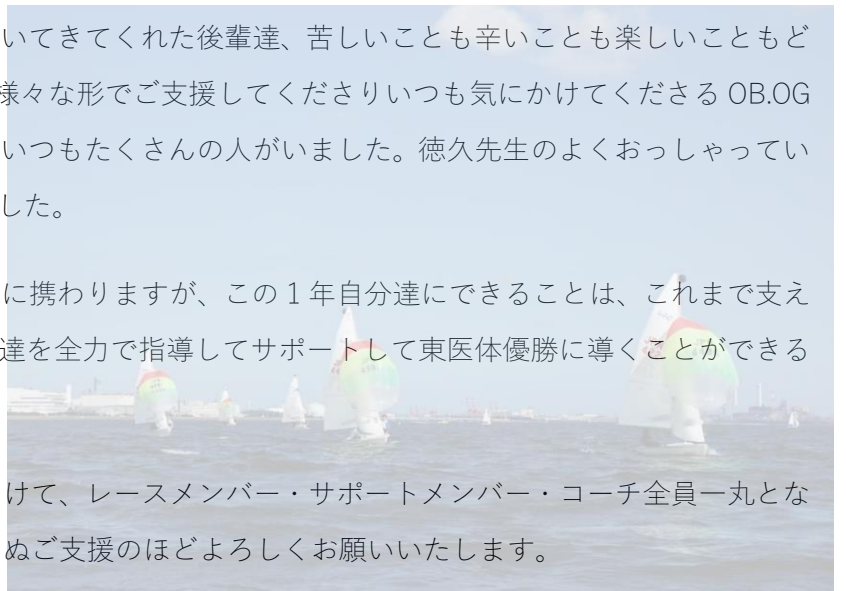
もう引退でもいいのではないかと、目標をなくした中で練習をする意味はあるのか、そう思ってしまうこともありました。ただそんな時に背中を押してくれる後輩達がありました。こんな自分たちにできることがあるのか、そう考えていましたが、自分たちがヨットに本気で取り組む姿を見せること、その中で身についた知識を伝えていくこと、東医体を優勝していた時の文化を引き継いでいくこと、それが自分たちに与えられた使命だと自覚しました。

それから私たちはその気持ちを持って練習を行い、10月16.17日の関東470選手権に出場しました。これも例年であれば10月初めには船を引き継いでいた中で出場させてもらい、この経験をさせてもらった後輩達には感謝してもしきれません。大会直前に感染拡大によって練習できない時期が続いたこともあり、大会の結果としては奮いませんでしたが、初めて外洋でスキッパーとして大会に出場することができたことはこの5年間のヨット部生活を彩る、素晴らしい経験でした。

この大会の経験だけでなく、これまでの5年間を振り返るとこのヨット部でしかできない経験をたくさんさせていただきました。それにはたくさん人の支えがありました。勧誘してくださりヨットの面白さ・奥深さを伝えてくださった先輩方、一緒になって頑張ってくれてくれた後輩達、苦しいことも辛いことも楽しいこともどんな時も傍で一緒に経験してきた同期の5人、様々な形でご支援してくださりいつも気にかけてくださるOB.OGの先生方、と自分の充実したヨット部生活にはいつもたくさんの方がいました。徳久先生のよくおっしゃっていた”人は力”という言葉の意味を感じる5年間でした。

これから先、私たちはコーチとしてこの部活に携わりますが、この1年自分達にできることは、これまで支えてくれたたくさんの人への恩返しとして、後輩達を全力で指導してサポートして東医体優勝に導くことができるように精一杯の努力をすることだと思います。

この2年間果たせなかった東医体3連覇に向けて、レースメンバー・サポートメンバー・コーチ全員一丸となって邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。





## PayPal®を用いたご寄付のご案内

いつも千葉大学医学部ヨット部に多大なるご支援をいただきありがとうございます。

例年、夏の東医体や各イベント、冬のOB訪問などで直接ご支援をいただいておりますが、現在の状況下では先生方にお会いすることが難しくなりました。直接お会いしてご寄付をいただくことができない場合は寄付金の振り込みをしていただいておりますが、お振り込みの手間をおかけせず更に簡単にご支援いただける方法として、先生方からのご意見をふまえ以前より検討させて頂いておりました PayPal®を用いたクレジットカードからの寄付によるご支援方法を新たに設けさせていただきました。尚、PayPal®のアカウントをお持ちでなくても登録せずに決済が可能となっております。

寄付の方法について以下詳細をご紹介します。

①お手数ですが [chibamedyachtkaikai@gmail.com](mailto:chibamedyachtkaikai@gmail.com) のアドレスにお名前と寄付金額をお送りください。あるいは部員より連絡させていただいた際に連絡担当の部員に直接伝えてくださることもお受けできます。

②千葉大学医学部ヨット部の PayPal®アカウントを介して [service-jp@paypal.com](mailto:service-jp@paypal.com) のメールアドレスより先生方へ①で教えてくださった寄付金額をご請求させていただいたご請求のメールが届きます。

(※アカウントの作成上、大変恐縮ですが請求者の名前が主務：宮川宏佳の個人名となっております。ご了承ください。お支払い内容の詳細に千葉大学医学部ヨット部と記入させていただきます。)

③メールに記載された「今すぐ支払う」ボタンを押していただき PayPal®アカウントをお持ちの先生方はそちらのアカウントより、お持ちでない先生方は「会員登録をせずに支払う」をご選択ください。

④「会員登録をせずに支払う」をご選択の場合、クレジットカード情報、姓名、携帯電話番号、請求先住所をご入力いただきご寄付のお支払いが完了いたします。

⑤ご寄付完了後、[service-jp@paypal.com](mailto:service-jp@paypal.com) よりお支払い完了のメールが届きます。

対象のクレジットカードは Visa, American Express, Mastercard, Discover, JCB となっております。

メール送信のお手数をおかけしてしまいますがオンラインでクレジットカードによってお支払いが可能ですので、ご寄付の手段の一つとして、よろしければぜひご検討ください。

また、寄付の方法や内容などにつきまして、ご不明点やご意見などがございましたら、お気軽に下記アドレスまでお問い合わせください。

Paypal では、メールアドレスでアカウントを管理致します。お振込みの際は、以下の千葉大学医学部ヨット部のアカウントのメールアドレスへお願い致します。ご不明な点がございましたらこちらのメールアドレスまでお問い合わせください。

アカウント名：宮川宏佳（千葉大学医学部ヨット部主務）

メールアドレス：[chibamedyachtkaikai@gmail.com](mailto:chibamedyachtkaikai@gmail.com)

## Facebook につきまして

昨年に引き続きまして、私たちの活動状況や各種行事のお知らせなどについて、Facebook に掲載しております。今後活動状況がどのようになるか分かりませんが、状況が変わり次第情報を発信していきたいと思っております。

アカウント名 "千葉大学医学部ヨット部"  
アドレス [www.facebook.com/chibamedyacht](http://www.facebook.com/chibamedyacht)

Facebook のアカウントをお持ちでない場合も、Web で上記 URL を検索していただくとページをご覧ください。アカウントをお持ちでしたら、ページ内の「いいね！」を押していただくと、ページの新情報をすぐにチェックできるようになります。

たくさんの「いいね！」をお待ちしております！お時間のある際には、是非ご覧ください。



## メーリングリストにつきまして

OB の先生方に活動の報告を迅速にお送りするために、引き続きメーリングリストをイベントの日程が決定した際のご連絡などに使わせて頂いております。freeml のサービス終了に伴い、Google グループに移行して今後も情報を発信してまいりますので、ぜひご活用ください。

移行に伴い何かご不便やご質問、ご意見がございましたら、お手数ですが、3年主務小山田・竹内までお聞かせいただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

千葉大学医学部ヨット部主務 竹内 南帆・小山田理恵

メールアドレス：[chibamedyachtshumu@gmail.com](mailto:chibamedyachtshumu@gmail.com)

## あとがき

今回は第 37 版の部報となっております。今年度こそは、と東医体の開催を切望していた中で 2 年連続の東医体の中止が決まり、やりきれない思いでいっぱいでした。何を目標としたらよいのかわからず、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で練習も思うようにできない中でも、部員全員が前を向いてその時その時でできることを積み重ね、ヨットに乗り続けることができましたのは、OB の先生方からの温かいお声かけ・ご支援のおかげです。日頃より私たちの活動を温かく見守ってくださること、心から感謝申し上げます。

医療現場に置かれましては大変な状況が続いていることと拝察いたします。どうかお体にお気をつけてお過ごしください。

千葉大学医学部ヨット部主務 小山田 理恵・竹内 南帆